

セグロウリミバエが発見されました！

沖縄本島北部地域において令和6年3月、海外から侵入した農作物の害虫
セグロウリミバエがトラップ調査により発見されました。

本種がまん延すると農作物に大きな被害を及ぼす恐れがあるため、防除を実施しております。皆様の**防除へのご協力をお願いいたします。**



体長 8～9 mm

防除のおもな内容

1) 果実のサンプリング調査を実施しています

*家庭菜園等も対象となります。



2) 寄生果発見地の対象作物を除去しています

*所有者の同意を得て行います。



3) 寄生果発見地周辺で殺虫剤を散布します

*人畜に対して安全性の高い薬剤を使用しています。
(1週間に1回程度のペース)



体長 7.5～9 mm

ウリ科果実から
出てきた**ウジ**(幼虫)

ウリミバエ対策も行います

ウリミバエは1993年に根絶されていますが、かつて沖縄県で農作物に大被害をもたらした大害虫です。

セグロウリミバエと一緒に再侵入している恐れがあるため、ウリミバエの対策も同時に行っています。

【実施する防除方法】

●ウリミバエ不妊虫の放飼(散布)

*不妊虫による作物への食害はありません



人力での放飼(左)と放飼された成虫(右)



カゴ放飼(蛹)

触った
りしな
いでね
！

不妊虫放飼作業

寄生する果実

ウリ類(ゴーヤー・
ヘチマ・モーウイ・
かぼちゃ・スイカ・
メロン・トウガン・
きゅうりなど)・
その他



セグロウリミバエのまん延を防ぐため・・・



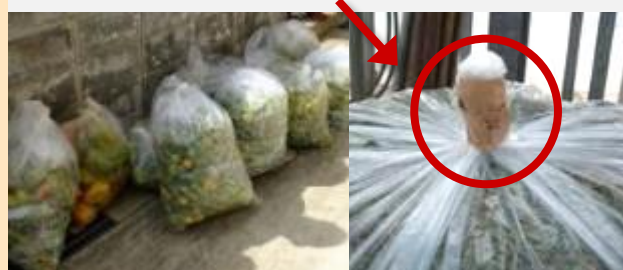
家庭菜園をお持ちの皆様へのおねがい

①栽培の終了した作物は、速やかに片づけましょう

自然に生えたもの(ナンクルミー)やウリ科雑草も、できるだけ抜き取りましょう。



②不要な果実はビニール袋に入れて密閉し、虫が死滅してから地域のルールに従って処分しましょう



→厚手のビニール袋に入れてねじって固く縛り、ガムテープ等でしっかり閉じる

③地域外へのウリ科果実の持ち出しを控えるよう、お願いします



④家庭菜園では、できるだけウリ科野菜の栽培を控えるようお願いします

(多くが家庭菜園から見つかっています!)



⑤もしウリ類果実の中にウジ(幼虫)を見つけたらすぐに下記に御連絡下さい



詳しくはこちら！



沖縄県病害虫
防除技術センター
ホームページ



連絡先

- ▶沖縄県病害虫防除技術センター
- ▶中部農業改良普及センター
- ▶読谷村役場営農知産地笑推進課

: 098-886-3880
: 098-894-6521
: 098-958-7248